

**製品名: APBA2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81811**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ICC 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	82.5kDa

**抗原情報**

遺伝子名	APBA2
別名	X11L; MINT2; LIN-10; HsT16821; X11-BETA; D15S1518E; MGC:14091
遺伝子 ID	321.0
SwissProt ID	Q99767
免疫原	大腸菌で発現したヒト APBA2 (AA: 15-158) の精製された組み換え断片。

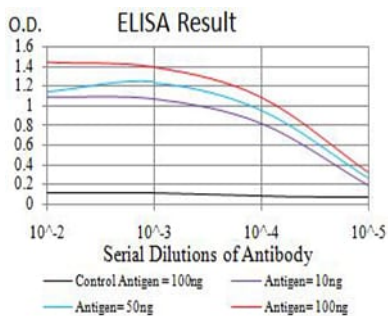
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、X11 タンパク質ファミリーのメンバーです。これは、アルツハイマー病アミロイド前駆体タンパク質 (APP) と相互作用する神経アダプタータンパク質です。APP を安定化させ、アルツハイマー病患者の脳に沈着す

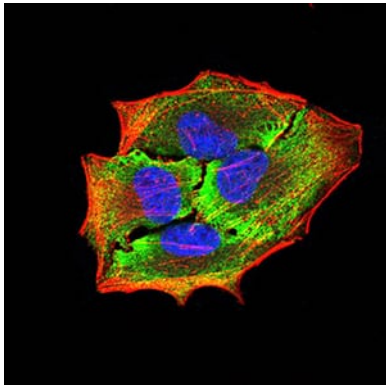
る A $\beta$  ペプチドを含むタンパク質分解による APP 断片の産生を阻害します。この遺伝子産物はシグナル伝達過程に関与していると考えられています。また、脳内でシナプス小胞の放出と神経細胞接着を結びつける複合体を形成できる、推定上の小胞輸送タンパク質であると考えられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。

## 研究分野

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



APBA2 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。